



2026年3月23日

各位

会社名株式会社パワーエックス

代表者名取締役代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕

(コード番号：485A 東証グロース市場)

問合せ先 執行役コーポレート領域管掌 藤田 利之

(TEL：03-4400-7296)

北海道苫小牧市への新工場開設に関するお知らせ

当社は、2026年3月23日開催の執行役会において、以下のとおり、系統用蓄電システムへの中長期的な需要拡大に対応するため、北海道苫小牧市に新工場「Power Base Hokkaido」を開設することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。建物および土地の取得に関する契約は本日付で締結しています。

1. 新工場開設の理由

当社は現在、系統蓄電所や太陽光発電所への併設などの用途で活用される大型蓄電システムなど全ての製品を岡山県玉野市で製造しています。日本における再生可能エネルギーの主力電源化が進む中、電力系統の需給安定化に貢献する蓄電システムへの需要は拡大が見込まれています。こうした市場環境に対して、当社は十分な供給力を確保するとともに、製造拠点の分散による自然災害等へのレジリエンス強化ならびに完成品の輸送コストの最適化を図るため、新たに北海道において製造拠点を開設する運びとなりました。

新工場の所在地である苫小牧市は、北海道の海の玄関口である苫小牧港と空の玄関口である新千歳空港に隣接し、物流・人員移動の両面で優れた立地条件を備えています。既存の工場建屋に改修を施すことで短期間での立ち上げが可能となり、2027年6月より主力製品である大型蓄電システムの製造を開始する計画です。主に北海道・東北エリアの系統蓄電所向けに供給します。

製造ラインについては、稼働開始時は1ラインでの立ち上げとなりますが、最大2ラインまでの拡張が可能なレイアウトとなっています。さらに、当社が開発を進めるコンテナデータセンターについても、混合生産の実施を検討します。

北海道は国内有数の再生可能エネルギーのポテンシャルを有する一方、本格的な導入には蓄電システムをはじめとする調整力の確保が不可欠です。当社は新工場での蓄電システムの製造・供給を通じて、北海道における再生可能エネルギーのさらなる導入拡大とカーボンニュートラルの実現に、地元企業やパートナーとともに取り組んでまいります。

2. 新工場の概要

拠点名	「Power Base Hokkaido」
所在地	北海道苫小牧市
敷地面積	25,073 m ²
延床免責	約8,200 m ² (既存建屋5,705 m ² を改修)
製造品目	大型蓄電システム「Mega Power 2500」 (10ft コンテナ型)
生産能力	年間800台 (約2GWh)

設備投資の内容	土地建物取得、改修工事及び製造ライン設置
総事業費	3,000 百万円
資金調達方法	自己資金及び借入金（注1）
着手予定日	2026 年 3 月
稼働開始予定日	2027 年 6 月

（注1） 本日開示の「財務上の特約が付されたコミットメントライン契約の締結について」で調達する借入金とは別に、長期借入金の調達を現在検討しております。

（注2） 上記は設計・計画の進捗に伴い、変更となる可能性があります。

3. 相手先の概要

土地建物（改修除く）

取得先からの要請により名称等の公表は控えさせていただきます。なお、同社と当社は資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者のいずれも該当ございません。

4. 取得の日程

土地建物（改修除く）

(1) 執行役会決議日	2026 年 3 月 23 日
(2) 契約締結日	2026 年 3 月 23 日
(3) 物件引渡期日	2026 年 6 月 30 日

5. 今後の見通し

本件が 2026 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微であります。中長期的には当社の企業価値向上に資するものと考えております。進捗状況や投資判断に関する重要事項が生じた際は、適時開示等を通じて速やかに情報発信を行ってまいります。



画像：「Power Base Hokkaido」（北海道苫小牧市）イメージ



画像：「Power Base Hokkaido」製造ラインのイメージ

以上

(参考) 当期連結業績予想 (2026年2月13日公表分) 及び前期連結実績 (単位：百万円)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
当期連結業績予想 (2026年12月期)	38,000	2,500 ～3,000	2,000 ～2,500	1,000 ～1,500	1,000 ～1,500
前期連結実績 (2025年12月期)	19,306	△137	△677	△1,796	△1,646